

2014.01.14

伴野豊の絆レポート



伴野豊の活動報告

皆さん、こんにちは、伴野豊です。改めて、新年あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、そろそろ役者が出揃いましたね。1月23日告示、2月9日投票日の東京都知事選挙。政策的にそれぞれ一家言ある方が出馬することは大変望ましいことです。「知る権利」「エネルギー」「社会保障」「安全保障」「東京五輪」など。本来国会で十分議論して頂くべき事ばかりです。それが東京都知事選挙の争点になるのですから、今の国会で如何に議論が十分なされていないか、その裏返しでもあります。なぜなら現在の国会は例年の三分の二の期間しか開会していません。これだけ難問山積みの我が国において約4ヶ月の夏休みと冬休み。休み過ぎです、今の国会。国会が重要な案件を十分議論していない分、東京都知事選挙で国民の信を問うて頂くしかありません。いずれにしても日本の将来を決める重要な選挙。冷静かつ熱い政策論争の結果、都(みやこ)から新しい春の芽が吹くことを期待しています。

伴野豊の気になる国土交通政策

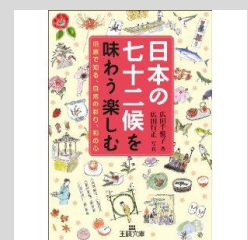
年頭にあたりいずれの省庁でも大臣が年頭の記者会見を実施します。国土交通省でもさる1月7日の午前中に大臣会見が行われました。その主な概要は以下の通りです。

「今年は、実感と未来の年にしたい。まずは、『被災地の復興の加速』『景気・経済の再生』『防災・減災をはじめとする危機管理』の前進を現場や生活の中で実感出来る年にしたい。とりわけ、『防災・減災、老朽化対策、メンテナンス、耐震化』を公共事業のメインストリームに置きたい。続いて、2050年を視野に入れつつ**2020年の東京五輪を助走として捉えてた『国土のグランドデザイン』を策定したい。**」年頭の挨拶として会見で言っていることは極々まともです。ただし、2030年前後が我が国の人口構造的に見てかなり厳しくなること、そのために社会資本整備の観点から何をすべきか、しっかり取り組んで頂きたいものです。また、記者会見の質疑応答時に出たJR北海道対策については、もっともっと力を注いで頂きたいものです。

伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、広田千悦子著「日本の七十二候を味わう楽しむ」です。最近つくづく「日本人の季節感って凄いなあ」って思っておりましたところ、それを改めて活字にした本がありました。

日本には改めて申し上げるまでもなく、春、夏、秋、冬と四季があります。さらに、六つに分けた二十四節気があります。立春、雨水、啓蟄とかいうやつです。七十二候は、一年をほぼ五日ごとに分けて、いわば七十二個の季節にしたもの。一つひとつの季節に短くも美しい名前がついています。その名前の意味を知れば知るほど感性が磨かれて行くから不思議です。心豊かに生きる知恵をどうぞ。三笠書店(定価: 本体 657 円+税別)



ば

ばんの豊 フェイスブック

検索

伴野豊事務所 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区: 半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

